

1. アンパイヤーの判定区分で、正審が担当する場合は正、副審が担当する場合は副と下の（ ）に答えなさい。

- ア) ベースライン
- イ) 副審側のサイドライン
- ウ) サービスライン
- エ) サービスセンターライン
- オ) 正審側のサービスサイドライン

ア) () イ) () ウ) () エ) () オ) ()

2.①から⑤の（ ）に入るものを下記のアからコの中から選んで答えなさい。

(1) ボールのバウンドの高さは、ボールの下端が① () mの高さから落下させた場合、コート面ではずんだ後最高到達点がボールの下端で② () cmから 80 cmまでの範囲となるよう調整する。

(2) サイドチェンジをして大会規定の時間を過ぎても試合の準備に入ろうとしない場合、③ () と言って、連続プレイを命ずる。

(3) 第 1 サービスがネットにぶつかった後、サービスコートに入ったので④ () とコールした後、ツーモアサービスとコールする。

(4) スマッシュをしようとした時に相手選手が大声をあげたため、空振りをしてしまった。この時のコールは⑤ () で空振りをした方の得点となる。

ア. 65 イ. 70 ウ. 1.06 エ. 1.50 オ. インターフェア

カ. レット キ. ノータ임 ク. レッツプレイ ケ. タッチ コ.ダブルフォルト

① () ② () ③ () ④ () ⑤ ()

3.下記の文章のうち、正しいものには○を、間違っているものには、×をつけなさい。

- ア) ファイナルゲーム以外で双方が3ポイントずつ得たときは、デュースとコールする。
- イ) 7ゲームマッチの場合ゲームカウントが3-3になったら、ファイナルゲームとコールする。
- ウ) タイムは、プレイに支障が生じた場合、同一人が1回につき5分以内として、かつ同一マッチで2回まで正審が認めた場合、認められる。
- エ) 正審がカウントを間違えてコールしたのをサービスが終わった後、気がついたが間違っていたので、そのポイントをノーカウントとして、コレクションと言った後、正しいカウントをコールして、試合を再開した。
- オ) 正審はサービスの順番が違っていたのが分かったが教えることができないので、そのポイントが終わったあと、そのポイントをレシーブ側のものとして、試合を再開した。
- カ) 第1サービスがネットを越さなかったので、正審はフォルトとコールして、第2サーブをさせた。
- キ) ゲームが始まる前のトスで勝ったので、サーブやレシーブを選択しないで、風下のサイドを取った。
- ク) カウントが間違っているのに気がついたが、正審に言うと注意されて、イエローカードをだされるので、そのまま、試合を行った。
- ケ) 副審の判定区分であるサイドライン上に落ちたボールを正審がアウトとコールしたので返球するのをやめた。セーフのボールを打つ体勢にあったのに打たなかったのを確認したので、ノーカウントとして、第1サービスから試合を再開した。
- コ) 正審は、プレイヤーの陰でボールの落ちた場所が分からなかったので、正審の判定区分の場所だったが、副審に確認してフォルトとコールした。

ア) () イ) () ウ) () エ) () オ) ()

カ) () キ) () ク) () ケ) () コ) ()